



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ
コード番号 3924 URL <https://www.rand.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 嘉章
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 奥野 文俊
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5232-3046

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,829	20.6	1,190	59.0	1,206	59.9	804	74.9
2023年3月期第3四半期	8,149	22.5	748	51.6	754	51.2	459	24.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 829百万円 (80.8%) 2023年3月期第3四半期 458百万円 (30.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	44.79	—
2023年3月期第3四半期	25.61	—

(注) 1 2023年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な確定処理の確定の内容を反映しております。

(注) 2 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	7,912	5,326	67.1	295.65
2023年3月期	7,502	4,865	64.7	271.00

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,307百万円 2023年3月期 4,850百万円

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	14.00	—	21.00	35.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	23.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 1 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期及び2024年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

(注) 2 2024年3月期期末配当予想の修正につきましては、本日(2024年2月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	16.6	1,685	37.8	1,709	38.0	1,110	43.8	61.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。通期業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

(注) 2 業績予想の修正につきましては、本日(2024年2月13日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	17,967,900 株	2023年3月期	17,967,900 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	15,734 株	2023年3月期	13,534 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	17,952,906 株	2023年3月期3Q	17,953,996 株

(注) 2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、前第1四半期連結会計期間に行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前連結会計年度末に確定しており、前第3四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや社会活動の正常化、設備投資の増加、インバウンド需要の回復等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で長期化する原材料・エネルギー価格の高騰、円安進行による物価上昇、地政学的リスクの高まり、世界的な金融引き締めを背景とした世界的な景気後退懸念等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界においては、引き続きデジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）、クラウドサービスの利活用等の推進の更なる加速が期待されております。さらに生成AI等の新たな技術の活用による業務効率化を推進する動きがみられております。また、「標的型攻撃」に代表されるサイバー攻撃への防衛策等、情報セキュリティ対策の重要性も一層高まっており、今後も市場規模の拡大が見込まれております。

このような環境のもと当社グループでは、2023年9月29日に上場維持基準適合に向けて、中期経営計画（VISION2023）の最終年度である2024年3月期を期初とした延長版「新中期経営計画（VISION2025）」を発表いたしました。積極的なM&Aの推進、業務提携先との連携強化、DXビジネス推進、人材育成への投資と得意分野の強化、既存SI分野の更なる売上拡大、資本政策・株主還元に取り組み、更なる企業価値の向上を目指してまいります。現在は事業構造の選択と集中による高付加価値ビジネスへのシフトを積極的に推進しております。M&Aを活用し当社の成長戦略の柱であるパッケージベースSI・サービスの更なる拡大に向け、グループ連携の強化を図り、さらに既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、DX推進本部を中心とする、ローコード開発やアジャイル開発、生成AI等の新デジタル分野に対応した人材育成の強化、クラウドシフトへの取り組みに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,829,076千円（前年同四半期比20.6%増）と、第2四半期連結会計期間に続き、全サービスラインで売上高が前年売上を上回る結果となりました。利益面につきましては、処遇改定に伴う人件費の増加や新デジタル分野への人材育成費用等の人的資本投資を行い経費等が増加しましたが、増収による増益に加え、事業構造の選択と集中による高付加価値ビジネスへのシフトによる利益率改善の結果、営業利益は1,190,162千円（前年同四半期比59.0%増）、経常利益1,206,066千円（前年同四半期比59.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は804,094千円（前年同四半期比74.9%増）と大きく伸長し、売上高・利益面ともに二桁以上の増加率を達成することができました。

事業のサービスライン別の業績を示すと次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	前年同期比（%）
システムインテグレーション・サービス	5,502,102	122.6
インフラソリューション・サービス	955,121	107.6
パッケージベースSI・サービス	3,371,852	121.6
合計	9,829,076	120.6

（システムインテグレーション・サービス）

金融分野については、引き続きネットバンク及び信託銀行向け受託開発案件が堅調に推移したことにより、前年を大きく上回りました。また、産業・流通分野については、通信回線事業者向け受託開発案件が堅調に推移し、公共分野については前年度から続いている大型プロジェクト案件及び行政機関向けシステム開発案件の受注による売上が増加したこと等により大きく伸長しております。この結果、システムインテグレーション・サービス全体の売上高は5,502,102千円（前年同四半期比22.6%増）と大きく増加いたしました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
金融	2,376,908	122.2
(うち銀行)	1,420,123	136.9
(うちクレジットカード)	773,439	104.4
(その他)	183,345	109.1
産業・流通	2,335,574	120.3
公共	384,588	144.4
医療	405,031	120.5
合計	5,502,102	122.6

(インフラソリューション・サービス)

当社におけるDX推進の中心であるクラウドビジネスについては、人材育成の強化に引き続き注力し、公共向け案件の受注により売上高が増加しております。また半導体不足の影響が緩和したことによる基盤構築・導入案件の受注が増加したことにより、売上高は955,121千円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

(パッケージベースS I・サービス)

当社における成長戦略の柱であるパッケージベースS I・サービスについては、引き続き子会社インフリーでの中心ビジネスであるSAP関連の導入支援及びアドオン開発が、大規模プロジェクトの受注による当社事業部門と共同体制を構築し対応したことにより、売上高が大幅に増加しております。さらに子会社テクニゲートと当社事業部門が展開する会計パッケージの導入支援、保守及びアドオン開発が、2023年10月1日からのインボイス制度開始を迎え、バージョンアップ作業及びアドオン開発の改修案件の受注により、急伸びしております。またDX推進の中心であるクラウド分野のSalesforce関連については、導入支援及びアドオン開発の全社展開における大型案件獲得により、売上高が前年数値と同規模にて推移しております。この結果、パッケージベースS I・サービス全体の売上高は3,371,852千円(前年同四半期比21.6%増)と大きく増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,912,424千円となり、前連結会計年度末と比較して409,646千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が317,346千円増加、有価証券が100,000千円増加、システム開発の進捗により仕掛品が219,748千円増加、投資有価証券が31,785千円増加した一方、売掛金及び契約資産が48,406千円減少、前払費用が13,844千円減少、その他流動資産が16,833千円減少、のれん及び顧客関連資産が79,285千円減少、繰延税金資産が102,802千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,586,375千円となり、前連結会計年度末と比較して50,673千円の減少となりました。これは主に買掛金が196,585千円増加、短期借入金が150,000千円増加、未払費用が62,261千円増加、預り金が100,181千円増加した一方、未払金が19,078千円減少、未払法人税等及び未払消費税等が234,562千円減少、賞与引当金及び役員賞与引当金が293,083千円減少、株主優待引当金が16,227千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,326,049千円となり、前連結会計年度末と比較して460,319千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が436,049千円増加、その他有価証券評価差額金が19,898千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年11月13日に「第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から修正をおこなっております。

詳細につきましては、本日（2024年2月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,062,740	3,380,086
売掛金及び契約資産	2,649,842	2,601,436
有価証券	200,000	300,000
仕掛品	72,465	292,214
前払費用	137,437	123,593
その他	17,354	521
流動資産合計	6,139,840	6,697,852
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	64,464	58,628
工具、器具及び備品（純額）	48,934	44,888
有形固定資産合計	113,399	103,516
無形固定資産		
のれん	345,167	291,306
顧客関連資産	305,100	279,675
ソフトウェア	51,359	82,701
ソフトウェア仮勘定	19,305	5,416
商標権	6,354	1,925
無形固定資産合計	727,286	661,024
投資その他の資産		
投資有価証券	148,723	180,508
差入保証金	75,903	74,950
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	294,674	191,871
貸倒引当金	△650	△900
投資その他の資産合計	522,250	450,030
固定資産合計	1,362,936	1,214,571
資産合計	7,502,777	7,912,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	538,846	735,431
短期借入金	—	150,000
未払金	69,678	50,600
未払費用	129,899	192,160
未払法人税等	346,043	97,937
未払消費税等	116,101	129,645
契約負債	198,833	199,999
預り金	54,039	154,221
賞与引当金	465,146	182,863
役員賞与引当金	67,900	57,100
株主優待引当金	18,058	1,831
受注損失引当金	9,000	10,500
流動負債合計	2,013,548	1,962,291
固定負債		
長期末払金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	436,862	444,657
繰延税金負債	86,637	79,425
固定負債合計	623,499	624,083
負債合計	2,637,048	2,586,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,063	460,063
資本剰余金	316,333	316,333
利益剰余金	4,012,594	4,448,644
自己株式	△5,877	△7,085
株主資本合計	4,783,114	5,217,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,158	93,056
退職給付に係る調整累計額	△5,575	△3,488
その他の包括利益累計額合計	67,583	89,568
非支配株主持分	15,031	18,524
純資産合計	4,865,729	5,326,049
負債純資産合計	7,502,777	7,912,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,149,406	9,829,076
売上原価	6,449,100	7,667,221
売上総利益	1,700,305	2,161,855
販売費及び一般管理費	951,783	971,692
営業利益	748,522	1,190,162
営業外収益		
受取利息	71	66
受取配当金	1,374	2,096
業務受託料	8,637	13,134
その他	935	1,425
営業外収益合計	11,018	16,722
営業外費用		
支払利息	595	568
固定資産除却損	4,392	—
貸倒引当金繰入額	100	250
その他	8	—
営業外費用合計	5,096	818
経常利益	754,444	1,206,066
税金等調整前四半期純利益	754,444	1,206,066
法人税、住民税及び事業税	245,997	312,876
法人税等調整額	47,790	85,602
法人税等合計	293,787	398,479
四半期純利益	460,657	807,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	837	3,492
親会社株主に帰属する四半期純利益	459,819	804,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	460,657	807,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,563	19,898
退職給付に係る調整額	2,616	2,087
その他の包括利益合計	△1,946	21,985
四半期包括利益	458,710	829,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,872	826,079
非支配株主に係る四半期包括利益	837	3,492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、システムソリューションサービス（システムインテグレーション、インフラソリューション、パッケージベースS I）及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年4月1日に行われた株式会社テクニゲート（旧株式会社NESCO SUPER SOLUTION）との企業結合について、前第1四半期連結会計期間から前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第4四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しが反映されております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額548,989千円は、会計処理の確定により246,299千円減少し、302,690千円となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。